

<ニュースリリース>

本リリースは2008年4月21日に米国で発表されたものです

開発中のがん治療薬 750 種類に関する報告書 米ルイジアナ州、バトンルージュにて発表

米国研究製薬工業協会（PhRMA）がこのほど発表した、開発パイプライン上にある医薬品に関する新しい報告書によると、米国の研究開発志向型製薬企業は現在、がん治療薬について、過去最大規模となる750種を研究開発中です。

ルイジアナ州議会議事堂で同報告書を発表するにあたり、ケン・ジョンソン PhRMA シニアバイスプレジデントは次のように述べています。「米国疾病管理予防センター（CDC）によると、米国におけるがんによる死亡率は、ルイジアナ州で最も高い。また、米国がん協会による最新のデータでも、すべてのがんにおいて、ルイジアナ州のアフリカ系米国人の死亡率が米国で最も高く、生存率が最も低くなっている。これらのデータに基づき、『全米マイノリティがん啓発週間（National Cancer Minority Awareness Week）』にあわせ、ルイジアナ州の市民の健康との関連性を考慮し、このほどバトンルージュで報告書を発表することとなった」

同報告書で言及されている薬剤は、臨床試験または米食品医薬品局（FDA）の承認待ちのいずれかの段階にあります。

ビリー・トーザン PhRMA 理事長は次のように述べています。「現在開発パイプライン上にある薬剤は、この5年間にバイオ製薬企業が推進してきた新しいがん治療薬や効果的ながん治療薬の開発をさらに推し進める。このような研究開発に対する熱心な取り組みは、患者がより長くより健全で活動的に暮らせるよう、新薬開発と向き合う米国の製薬企業の研究者の堅い決意の表れだ。私自身、かつてがんと診断され、新薬のおかげで死の淵から生還することが出来た」

開発中のがん治療薬には、米国におけるがん死の主要因である肺がんの治療薬 113 種、今年米国で 18 万人強の女性が罹患すると予測される乳がんの治療薬 90 種、米国で男女ともに 3 番目に多いがんとされる結腸直腸がんの治療薬 65 種、今年米国で 2 万 8,000 人を超える男性が死亡すると予測される前立腺がんの治療薬 88 種などがあります。このほか、脳腫瘍、肝臓がん、卵巣がん、膵臓がん、皮膚がんなどの治療薬があります。

Pharmaceutical Research and Manufacturers of America

薬剤には数々の最先端のアプローチが用いられており、例としては、特定のがん細胞を標的にして破壊し、患者の全体的な免疫システムを活性化させ、残存するがんを破壊する薬剤1種が挙げられます。

「現在、研究者はがんの新しい治療薬や治療法の開発において目覚ましい成果を上げている。しかし、開発した薬剤が、それらを必要としている患者の元に届かなければ、こうした取り組みはすべて水泡と帰ってしまう」とジョンソンは述べています。

患者に対する支援は、米国の研究開発志向型製薬企業が資金提供しているプログラム、処方支援パートナーシップ（PPA：Partnership for Prescription Assistance）を通じて、助けを必要としている患者の元に届けられています。PPAは今日までに、ルイジアナ州の11万2,000人をはじめ、全米で約500万人の患者を支援してきました。PPAのバスが巡回するプログラム「Help is Here Express」は2005年4月に立ち上げられ、以来、全米50州2,000以上の都市で患者支援プログラムに関する啓発活動を実施しました。ルイジアナ州には7度巡回しており、先月は、バトンルーージュのルイジアナ州議会議事堂において、テレビのトーク番組司会者モンテル・ウィリアムス氏も参加してのスペシャルイベントを開催しました。

「Help is Here Express」プログラムでは、研修を受けた専門家を配置し、支援を必要としている保険未加入の患者に対し、製薬企業が後援している約200の患者支援プログラムに加え、475を超える患者支援プログラムの情報を提供しています。米国におけるこのような支援は、PPAのウェブサイト（www.pparx.org）や、フリーダイヤルサービス（1-888-4PPA-NOW）においても患者へ提供されています。

同報告書や開発中のがん治療薬に関するその他の情報については、別添の参考資料をご覧ください。それぞれ原文は、米国PhRMAウェブサイトにおいて入手いただけます。

開発中のがん治療薬に関する報告書：http://www.phrma.org/files/PhRMA_NM_Cancer0828Pg1.pdf

上記報告書に関連する情報：

http://www.phrma.org/publications/fact_sheets/selected_medicines_in_development_for_cancer/

###

Pharmaceutical Research and Manufacturers of America

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-8 ランディック第2虎ノ門ビル4階 電話 (03)5408-1061 ファックス (03)5408-1062
Landic Toranomom Bldg. II 4F, 3-7-8 Toranomom, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan
TEL (03) 5408-1061 • FAX (03) 5408-1062

PhRMA は、米国で事業を行っている主要な研究開発志向型製薬企業と、バイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者がより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する 2007 年の投資額は、約 445 億米ドル（概算）で、製薬業界全体の投資額は過去最高の 588 億米ドルに達しました。

PhRMA ホームページ：www.phrma-jp.org

米国 PhRMA ホームページ：www.phrma.org

希望と生存の話について：www.sharingmiracles.com

生命を守る革新的な医薬品について：www.innovation.org

処方支援パートナーシップについて：www.pparx.org

輸入薬の危険性について：www.buysafedrugs.info

Pharmaceutical Research and Manufacturers of America

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第 2 虎ノ門ビル 4 階 電話 (03)5408-1061 ファックス (03)5408-1062
Landic Toranomom Bldg. II 4F, 3-7-8 Toranomom, Minato-ku, Tokyo 105-0001 Japan
TEL (03) 5408-1061 • FAX (03) 5408-1062

< 参考資料 >

開発中のがん治療薬の一例*

脳腫瘍 - 治療が最も困難ながんのひとつ。今年、1万8,000人以上の米国民が脳腫瘍と診断されると予測されています。脳腫瘍の多くは、がん細胞を脳や脊髄全体に行き渡らせてしまう浸潤性の高い、悪性の神経膠腫です。脳腫瘍の治療薬候補には、サソリから抽出した成分であるクロロトキシンを合成した放射性医薬品があります。クロロトキシンは選択的に、正常細胞ではなく腫瘍細胞に結合します。

乳がん - 女性で最も多く診断されるがん。今年米国では20万人以上の女性が乳がんと診断されると予測されています。現在開発パイプライン上にある薬剤1種は、がん細胞の化学療法に対する耐性の一因と見られている Bcl-2 タンパクを標的としています。がん細胞内で Bcl-2 タンパクの量を減らすことにより、この治療薬は化学療法の効果を高めることが可能です。

結腸直腸がん - 男女ともに3番目に多いがん。今年新たに14万8,000人以上が結腸直腸がんとして診断されると予測されています。開発中の結腸直腸がんの治療薬候補の1種は、上皮成長因子受容体を標的とするモノクローナル抗体です。がん細胞はこの受容体から増殖因子を受け取ることによって増殖します。この受容体を阻害することにより、同治療薬はがん細胞の増殖を阻害し、がん細胞を撲滅することが可能です。

肝臓がん - 治療が特に困難ながん。今年1万8,000人を超える米国民が肝臓がんとして診断され、うち90%近くが死亡すると予測されています。開発中の治療薬1種では、臨床試験において肝臓がんの進行を遅らせることが確認されています。この治療薬は、経口薬のシグナル伝達阻害剤で、腫瘍細胞の増殖と、がん細胞の成長を促進する血管の形成に関わるタンパク質を標的とします。

黒色腫 - 悪性度が最も高い皮膚がん。今年6万2,000人を超える米国民が黒色腫として診断され、うち約8,000人が死亡すると予測されています。新薬候補1種は、病状が進行した転移性黒色腫を対象とするものです。この治療薬は抗原を解析する遺伝子を含み、免疫システムに異種組織の存在を警告させ、強力な免疫反応を生じさせます。

卵巣がん - 他の女性生殖器系がんに比べて死亡率が高く、2006年には1万5,000人以上が死亡すると予測されています。卵巣がんの中には過剰な表面タンパク質や CA125 抗原を血流に放出するものがあります。開発中の治療薬候補1種はモノクローナル抗体で、身体の免疫システムを刺激してタンパク質を攻撃し腫瘍を破壊します。

前立腺がん - 男性のがんによる死因の第 3 位。今年の死亡件数は 2 万 7,350 人に達すると予測されています。現在、がん治療薬として複数のワクチンの研究開発が行われています。従来、ワクチンは疾病の予防のために用いられてきましたが、新しいワクチンは、がんの発症後に身体の免疫システムががんと戦うことを目指しています。ワクチン候補の 1 つは、臨床試験において、進行した前立腺がんの男性の生存率が 3 倍に増えたことが確認されています。

* 米国がん協会のデータより